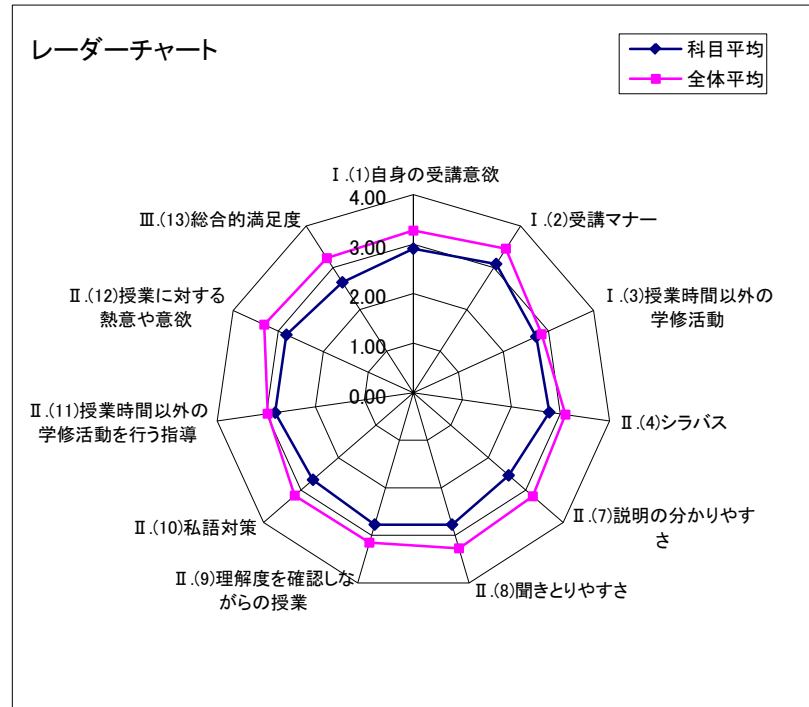
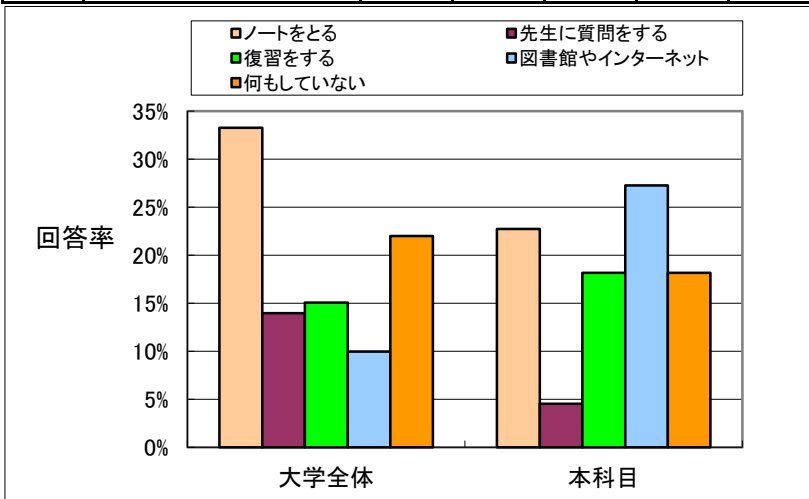


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.23	0.05	0.18	0.27	0.18



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.91	3.27
	I.(2)	3.09	3.46
	I.(3)	2.73	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.77	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.55	3.19
	II.(8)	2.77	3.27
	II.(9)	2.77	3.15
	II.(10)	2.68	3.17
	II.(11)	2.82	2.97
	II.(12)	2.82	3.31
	総合評価	III.(13)	2.65

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.91	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	2.74	3.17
総合評価 III.(13)	2.65	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	1266
科目名	システムインテグレーション・経営工学
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の目的の認識については、初回の授業においてシラバスを配布して説明し、さらに毎回の授業で目的を説明して本題に入っていたつもりであるが、設問4の評価を見ると2/3近くの学生が役立ったと答えているだけであり、目的の認識が甘かったように思う。新規開講科目であるために難易度の設定が非常に難しかったが、学生の理解度に合わせながら調整して進めるように努力をしてきたことにより、難易度については設問5・6において中程度の評価(「ややそう思う」+「あまりそう思わない」)はどちらも77.2%であり、目標や難易度は適切であったと判断できる。

②授業の進め方について

新規開講科目であり説明の仕方や授業構成など試行錯誤していたため、明瞭さという点で十分ではなかった。これは学生の評価(設問7, 8の結果)でも表れており、今後の最も改善すべき点であると考えている。学生の理解確認や私語の注意についてもあまり徹底できていなかったことが学生の評価(設問9, 10の結果)に表れている。授業時間外の学修活動をするように、毎回小テストをしたり課題を出したりすることで習慣づけるように試みたが、2/3程度の学生しかその意識は持っていない(設問11の結果)。以上の点から授業満足度は比較的低かった(設問13の結果)と判断できる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

新規開講の科目であるため学生の理解度に合わせながら調整して進めることを第一の目標として授業を行ってきた。全体を通しての満足度は高いとはいえなかったが、目標や難易度という点では概ねねらいどおりであったと考える。今後の授業改善の最重要課題は説明の分かりやすさという点である。できるだけ具体例・サンプル等を入れる、PowerPointなどで視覚に訴えるようにするなどの工夫をし、演習問題をする時間を十分にとりて個別の質問にも対応できるようにして学生と接する時間を増やし、学生が満足できる授業にしたい。